

# 平成二十年度 文学部卒業論文題目一覧

## 哲学 科(昼間主コース)

### ●哲学(昼間)

信仰と科学

キルケゴール研究

身体の変容

→私の身体はどこにあるのか

取捨選択される命

日本人における宗教の存在意義

「美」の探究—プラトンの著作を中心に—

思惟する私が見る世界

プラトンの政治哲学

ボランテアと道徳

デカルト的二元論

構造主義と価値判断

デカルトの形而上学説における

人の心についての考察

自然と自己との調和

日本人と無常観

「生きる」こととケア

デカルトについて

人間理解のケア

→生と死を支えるコミュニケーション

〈思いやり〉の孕む意味

→和辻哲郎の倫理学における

信頼から見る〈思いやり〉

うつろうおもかげ

デカルト研究

自己について

人間疎外について

生命の価値をめぐる倫理

人間と神の関わり

ニーチェのニヒリズムについて

安楽死をめぐる諸問題

何故生きたい、何故死にたい?

親密圏に関する哲学的考察

ハイデガーにおける存在分析の研究

情報倫理

隣り合う愛と苦悩

汎神論—神あるいは自然—

家族関係の生命倫理学

→親子となるために

石田 美織

田代 祐輔

伊東 ひとみ

高島 ゆり愛

富田 瑞貴

中渡 笑美

古澤 督代

佐藤 陽

山下 貴史

細井 崇史

横山 隆明

大塚 慎也

淵ノ上 光

田仲 宏介

長澤 智子

時田 淳

川上 瞬

草薙 睦

野島 翔吾

田原 かおる

太田 洋史

高柳 瑞基

佐藤 萌野

鈴木 麻弥

多田 陽介

横須賀 元就

増田 貴志

瀬戸 結耶

木村 雄一

有里 友仁

尾形 亮伍

江原 隆朗

渡部 絢美

文学部卒業論文題目一覧

尾崎豊 愛のゆくえ	中村 勇介	時計と暦の歴史の変遷とその影響	増川 研一郎
ハイデガーの芸術論	佐々木 萌	『嘔吐』に見る不条理の人生観	上野 名男
日本人の宗教性	遠藤 靖子	心の所在について	高津 力也
中庸		尊厳死を考える	宮田 大
く東洋儒教と西洋・アリストテレスから考える。そして現代へく	秋山 伊奈子	デカルト的主体性について	水澤 文希
死を受け容れること	桑原 侑希	哲学 科(夜間主コース)	
間柄によって決定づけられる		デカルト『方法序説』について	平林 悟
「正義」について	市川 寛	「笑い」とその意義について	若生 亜美
神の存在とは何か―スピノザを通して―	三卷 静枝	議論についての哲学的考察	渡邊 攻
人間の命に尊厳はあるのか	榎本 賢次郎	ジェンダーの生成	齋藤 千春
私は「何」を「どう」感じているのか?	谷越 元気	幸福論の価値	青木 一輝
商品化する人体	野澤 真菜美	幸福論についての考察	木村 晃
綺麗な死	渡邊 圭	自由と孤独	小久保 暁生
『死』をめぐる考察	岡本 耕人	友情論	菊池 優乃
キリスト教思想における悪の因について	乗原 かおり	J・P・サルトル研究	根岸 怜爾
デカルト哲学による人生論	榎戸 睦	日常における環境学	菅野 秀一
正しさについて	相澤 かすみ	生と死―その傍らにある音楽―	鈴木 友子
演技による自己啓発	松本 理史	刑法第29章く失われてゆく理想	矢吹 淳子
生命をめぐる諸問題について	古屋 彩	死ぬという事の大切さ	松本 達也
レオナルド・ダ・ヴィンチと科学・技術	小西 直樹	おかしみの構造	大野 菜緒美
生と死について	石井 優介	ソクラテスと教育方法	藤田 奈都季
『星の王子さま』の幸福論	飯田 寛和	生きることと死ぬこと	石田 恵佑
ハイデガーの芸術論について	坂井 直也	哲学の必要性について	谷口 泰雅

タブラ・ラサについて

宝力俊介

地域社会に貢献する医療の在り方

真の意味でのキュアから

ケアの時代を目指す

ニーチェの超人思想について

生と死について

人間と機械論

波島亮

東国における官衙遺跡の様相

鳥取城兵糧攻め

イタリア・ルネサンスとメディチ家

ナポレオンと軍隊

ルネサンスの建築様式と宗教思想

縄文時代集落の構成

関東地方における埴輪の供給

縄文土偶の祭祀

植木枝盛の『民権自由論』

関ヶ原の戦いにおける西軍の指揮系統

古代ローマ帝国成立期における軍事政策

楚漢抗争の時代

江戸の職人と職人仲間

家紋の研究

貞観の治

山岳信仰についての一考察

近世の銭湯と湯女

中世墓の基礎的研究

中世の遊女

ナチス・ドイツのホロコーストにおける

ゲットーの役割

山川健次郎と奥平謙輔

隋唐時代の人々の日常

織田信秀論

鳥取城兵糧攻め

イタリア・ルネサンスとメディチ家

ナポレオンと軍隊

ルネサンスの建築様式と宗教思想

縄文時代集落の構成

関東地方における埴輪の供給

縄文土偶の祭祀

植木枝盛の『民権自由論』

関ヶ原の戦いにおける西軍の指揮系統

古代ローマ帝国成立期における軍事政策

楚漢抗争の時代

江戸の職人と職人仲間

家紋の研究

貞観の治

山岳信仰についての一考察

近世の銭湯と湯女

中世墓の基礎的研究

中世の遊女

藤生典夫

坂東美帆

佐藤明日香

千葉友也

吉田奈央

小林真耶

中久木麻里

豊田光輝

荒牧修良

野田慶彦

児玉充

大槻拓史

安部光弘

原田一輝

川高早也香

花見大輔

矢吹美姫

柿澤千尋

神丸裕明

中村沙也香

谷崇宏

栗原慶多

高野早紀

史学科 (昼間主コース)

中世の贈与・贈答

幕末における会津藩の行動理念

耶律楚材論

秦帝国の成立と皇帝政治

江戸における人足寄場の設置とその役割

赤穂事件と幕府の対応

明治を生きた元新選組隊士たち

前方後円墳の埋葬施設

近世における身分制について

下山事件の真相

近世流行神の諸相

歴史における娯楽の意義

一揆論

西欧中世・近世の海賊と社会的変化

佐藤瑞季

小原沙知奈

奥原逸平

金子潤也

坂田達哉

羽田泰

田浦未帆

佐藤綱

松森若菜

大矢瑠美

本宮淑央

瀧上高史

三好瑞穂

田辺徹也

ナチス・ドイツのホロコーストにおける

ゲットーの役割

山川健次郎と奥平謙輔

隋唐時代の人々の日常

織田信秀論

東国における官衙遺跡の様相

鳥取城兵糧攻め

イタリア・ルネサンスとメディチ家

ナポレオンと軍隊

ルネサンスの建築様式と宗教思想

縄文時代集落の構成

関東地方における埴輪の供給

縄文土偶の祭祀

植木枝盛の『民権自由論』

関ヶ原の戦いにおける西軍の指揮系統

古代ローマ帝国成立期における軍事政策

楚漢抗争の時代

江戸の職人と職人仲間

家紋の研究

貞観の治

山岳信仰についての一考察

近世の銭湯と湯女

中世墓の基礎的研究

中世の遊女

藤生典夫

坂東美帆

佐藤明日香

千葉友也

吉田奈央

小林真耶

中久木麻里

豊田光輝

荒牧修良

野田慶彦

児玉充

大槻拓史

安部光弘

原田一輝

川高早也香

花見大輔

矢吹美姫

柿澤千尋

神丸裕明

中村沙也香

谷崇宏

栗原慶多

高野早紀

文学部卒業論文題目一覧

古墳出土の鏡	得永真未	曹操の政策	中島大貴
足利義満の研究	鈴木啓生	縄文時代中期の墓制	鈴木優岐
茶の献上と茶壺道中	片野絵理	城の研究	川畑郁香
近世における私娼と公娼	沼田恵里	吉田松陰の思想	岡本沙知
五代の王朝と文人政治家	白石みなみ	秩父困民党の在地オルグ	蒔田耕平
奥州平泉の考古学的研究	猪股恵利	古代メソポタミアの都市バビロン	皆川晶
高杉晋作と奇兵隊	石川麻貴	縄文時代後期土器の一樣相	平野哲也
江戸における町人風俗と幕府の統制	福田誠	火山灰により埋没した遺跡	吉沢瑤美
ナチス・ドイツにおける		明治維新における坂本龍馬	宮澤宏典
SS(親衛隊)の拡大	野口洋祐	歴代内閣の成立過程と軍部の政治介入	貝沼智史
武士の昇進	井出幸大	地獄絵研究	興野千秋
先史時代における化石人類の死生観の変化	大平恵	縄文時代における狩猟の様相	肥沼隆弘
近世寺子屋の研究	元田めぐみ	和蕃公主	大金恵美
洋服の流入	田島秀一	皇女和宮の生涯	伊藤瑞穂
東日本の装飾古墳	田口綾子	18世紀イギリスにおける音楽産業の展開	平山達也
幸隆と真田氏の発展	真田昌俊	古代ローマにおけるカエサルの治世	唐澤友里
唐・長安城の都市生活	河村理恵	イギリスの帝国主義政策	塙論
表現された怪異の中世史	田中敦貴	上杉謙信の研究	高桑暢平
徳川慶喜と大政奉還	森住中一	和田英の思想と行動	朝倉珠実
関東地方における縄文時代後期の土偶	白瀧昌志	後北条氏の支城体制と鉢形城	安部勇作
近世における出版業と出版の統制	荒井進也	黒死病と中世後期のヨーロッパ	福島未千緒
幕末維新の女性	今橋佑紀	中世イギリス議会の成立過程	寺岡崇裕
中世和歌の変化論	山下哲	イングランドにおけるギルドの展開	小出啓一
近世の訴訟制度	阿部修浩	将軍吉宗と享保の改革	福島陽一郎

16・17世紀ヨーロッパの魔女狩り	目良徳太郎	縄文時代後・晩期の石器	岸惠
ポンペイの美術と壁画からみる人々の暮らし	岡村愛実		
天海と日光東照宮	宮関智美	史学 科(夜間主コース)	
イギリス中世都市	八木悠介	近世後期における農村荒廃と民衆	竹村昌紀
近世町人文化の特色	原川健三	唐朝の外交政策と和蕃公主	多田千寿花
福沢諭吉の「独立自尊」思想	留目裕太	孫呉政権と北来貴族	日高光
前方後円墳の築造企画	田中沙紀	縄文時代後・晩期の貝塚における 埋葬形態について	島田一葉
終末期古墳の横穴式石室	齊藤達成	「山武型」人物埴輪の系譜に関する一考察	岡村啓世
北条政子と4人の子どもたち	田丸詩織	宋代開封城の宗教施設	柄澤和葉
中国の国際関係と文字	藤野愛子	分国法の研究	石川聡
享保改革期における江戸の都市政策	千田郁美	関東地方における古墳副葬の玉類について	松崎茜
東国古墳出土の動物埴輪について	濱田章博	縄文時代前期集落の復元的研究	棚澤裕之
イギリス産業革命における		日本における即身仏	海野祐介
綿・鉄工業とエネルギー	草野直希	嘉納治五郎と柔道	高橋章宏
イギリス産業革命による労働者生活の変化	関谷良彦	江戸時代における民衆生活の一考察	木村安男
ヴィクトリア時代のガヴァネス	野口拓也	南関東における	
北アメリカ大陸先住民の抵抗運動	泉澤史明	古墳時代の祭祀遺跡と土製模造品	石川さやか
明治維新政府と大久保利通	新井和也	雍正帝と独裁政治の確立	高橋温子
江戸幕府の成立と初期大名統制	小林亮太	上総国一宮と鎌倉幕府について	齋藤陽太
武蔵地方における庚申塔の様相	中山岳史	国府台合戦の一考察	宮崎智
近世イギリスの居酒屋とソシアビリテ	柴山高延	源平合戦の中の女性たち	伊東麻純
山陰地方における弥生石器の基礎的研究	米田建	イギリス近代初期の都市と民衆生活	峠下雄治
唐代の国際秩序と東アジア	中山裕司	曹操政権初期における人材登用	飯田裕樹
武田の騎馬戦術	堀内智木		



テレビ番組を中心とした流行の変遷と普及

産業廃棄物の越境問題―加害論の視点で―

開発による途上国の環境問題

女性就労と事業所内保育施設

現代社会における空間的ストレスについて

チベット問題

地上デジタル放送開始に伴う

地域メディアの存在意義

非日常空間を求める人々

「地上波デジタル放送

完全移行における問題」

現代社会における女性の立場と摂食障害

持続可能な交通システムの構築に向けて

安心できる母親支援とは

都市伝説の魅力

社会的ジレンマが

ごみの減量化政策に与える影響

―ごみ有料化とその他の政策を比較して―

ペットのあり方の社会的変化

身体知としてのコミュニケーション能力

コミュニケーションによる相合理解

異文化間コミュニケーションの現状と行方

ディズニーマジックの種明かし

日本における

ワークライフバランスの導入について

富士山の環境保全

―利用し、保全する方法とは―

政治的指導者の大衆演説から見るレトリック

環境問題と報道

政治と報道

日本の結婚制度の意義

現代社会における社会性無力感の研究

現代日本人の健康意識

豊かな日本

愛国心教育をめぐる諸問題

児童虐待防止ネットワークと地域格差

自動車業界における環境活動への取り組み

高齢者と住環境

夫婦同姓論と夫婦別姓論について

子どもの遊びと

コミュニケーション活動の意義と課題

漫画から見るメディア展開

放送メディアの中のワイドショー

ヒット曲はなぜ生まれるのか

テレビ番組から生まれる

アーティストの存在価値について

現代におけるカリスマの作られ方

加瀬澤 綾乃

堀内 祐希

有馬 大祐

勝亦 恭子

辻 裕介

岩崎 俊憲

佐藤 博幸

梅澤 貴弘

肥後 智久

小川 綾子

田中 直樹

中 俊樹

津久井 彩香

竹内 良

高橋 絵里香

酒井 唯

福嶋 麻衣

橋浦 友恵

大木 佑太

奥田 麻純

「女らしさ・男らしさ」という社会的イメージ	江川 祐規	スポーツチームにおける力の根源	中橋 明子
現代ファッションの流行にのる人々	野本 知志	集団における感動の共有化について	間 篠朋美
人気スポーツの変遷からみる日本社会の変化	加藤 圭介	現代日本における未婚化・晩婚化の要因	早川 裕樹
国際化のなかの日本の経営	藤田 啓介	男性の家事・育児参加を阻むもの	佐野 友美
アスベスト問題と責任論	渡部 和樹	犯罪報道のメリットとデメリット	小出 純也
スポーツ報道をめぐるジェンダー論的分析	山口 大樹	子どもの安全における地域の役割	加藤 健人
グリコ・森永事件	鈴木 彩花	パラサイト・シングルから見る若者像	馬場 信也
消費社会と廃棄物	穴澤 佑輔	発達障害と報道	西山 瑞樹
インターネットコミュニティの特質	小谷 翔	スポーツにおけるルール違反	石野 潤
被害者支援の実態と役割	藤崎 英里	犯罪機会論から考える	高橋 祐樹
マスメディアは何のために	橋本 啓介	メディアの発達に伴う音楽産業の行方	清水 多恵子
犯罪を放送するのか	金子 実恵	化粧品広告における理想的女性像の変化	志村 祐史
「かわいい≠カワイイ」の社会史	高木 雄哉	犯罪とコミュニティ	大塚 絵里沙
犯罪被害の防止と犯罪被害者への支援	川村 沙織	「KY」を意識する人々について	藤原 ももこ
魚食の歴史社会学	野口 歩美	愛情という名の権力	山中 信二
自殺という行為とその要因	町田 夏子	ラジオの現状と未来	早見 裕美
書店の現状と可能性	山川 梢子	児童虐待問題の形成と展開	井上 功大
子ども向けメディアにみるジェンダー	加藤 正高	高校野球と郷土アイデンティティ	小嶋 和也
子どもの遊びの変遷		風力発電の可能性	
東京デイズニールランドを		「環境問題と人間行動の関係」	
		―都市生活型公害における	
犯罪機会論の視点で考察する	河野 萌子	社会的ジレンマ―	大澤 高也
災害弱者を守る／災害弱者と支援	松田 香緒李	地域コミュニティと防犯	長澤 和也
健康不安社会と喫煙の社会問題化	芳賀 祐一	原子力発電所立地に対する住民運動	前山 満

日本人のコミュニケーションと「空気」

木村 幸太郎

温暖化が人間社会に及ぼす影響

竹内 寛人

インターネット社会とメディアリテラシー

齋藤 祥吾

メディアがつくるスポーツの人気と知名度

後藤 俊輔

報道被害を考える

川上 洋子

仮想社会への引きこもりにみる

野口 勇樹

インターネット依存

野口 勇樹

### 社会学科(夜間主コース)

世論が政策過程に及ぼす影響

綱島 彰

オタク都市「秋葉原」論

大東 寛之

人的資源を最大化する為の戦略の研究

橋本 友希子

地球温暖化対策―家族から考える―

鈴木 彩野

アイデンティティの探求と可能性

儀間 友乙

ゾンビからみた社会と人間

吉原 新

現代自殺論

金子 昇平

「組合」から見る野沢温泉村の今日的課題

常田 成幸

墓の形態と葬送システムの変容

北島 良美

メディアは犯罪をどう扱うべきか

渡辺 絵美里

見えない誰かにいじめられる社会

犬塚 邦美

小学校における犯罪被害防止教育について

金成 悠紀

第一印象のメカニズムとその働き

柏村 徳哉

高校野球のドラマトゥルギー

松井 武

ギャンブル行動分析

高井 信伍

ケータイによる

釜谷 和寛

コミュニケーション空間の変容

釜谷 和寛

人間社会における

渡邊 由江

動物園の役割と今後の動物園の在り方

渡邊 由江

犯罪をめぐるメディア環境の変化とその影響

塙 茉莉子

「コミュニケーション能力と

少年犯罪の関係」

富岡 沙綾香

現代音楽の社会学

永井 俊輔

貧困救済の現状

中村 星太

新たな教育問題―モンスターパーアレント

山内 達哉

現代ファッション論

白井 沙幸

日本社会における匿名報道のあり方

吉村 篤

ICカードの普及による

岩切 志織

暮らしと価値観の変化

津田 倫宏

ギャンブルはどうして悪なのか

松隈 翔伍

都市伝説の社会学―うわさのメカニズム―

神田 悠二

自殺の持つ意味

赤松 直紀

介護保険制度の問題点としての「家族介護」

加藤 大輔

明治時代における家族関係

矢野 博樹

ターミナルケアからみる生命倫理

川邊 宏充

現代国際社会と憲法第九条

川邊 宏充

文学部卒業論文題目一覧

文学科 (日本語日本文学専攻コース) (層間主コース)		嶽本野ばら論	
武田泰淳論—ひかりごけを中心に—	寺澤 佑介	彼の描く登場人物から見える	一色 香奈子
夏目漱石—『道草』論	田村 健二	野ばら自身	谷 翔太
伊勢物語の研究	峰岸 綾香	古代文学における習俗の研究	高橋 福人
源氏物語の恋愛観	三井 優	芥川龍之介論 エゴイズムの問題を中心に	湊 達哉
源氏物語の俗習・俗信	三村 千里	深沢七郎作品の特性	柿崎 亜耶子
平清盛について	内田 崇	芥川龍之介 罪と罰—破綻する精神—	萩野 拓人
現代日本語の言語変化	鯨井 智子	琉球歌謡における「酒」の表現	針谷 信好
吉本ばなな作品にみられる家族と人間	永嶋 教子	義経とその部下の研究	石山 由紀
助詞「よ」「ね」「よね」の考察	須藤 千春	源氏物語に見る感性の形式	中込 翔子
金子光晴と反戦詩	萩原 かほり	琉球の神女	中島 枝里子
とはすがたりの表現研究	川村 政貴	物語話型論	阿久津 まき
『徒然草』の研究	中島 恵	男女の言葉の位相	田中 千賀子
『宇治拾遺物語』武士についての研究	浅野 裕美	平家物語の女性たち	鈴木 覚紀
平家物語の女性たち	小林 篤史	日常生活とオノマトペ	大河内 肇
太宰治論	大平 充男	那須与一の研究	宮崎 篤史
常陸国の文学	高柳 奈津子	日本人と方言	菊地 将
古代文学と家族	坂本 奈緒子	小倉百人一首文化論	芝田 智哉
平家物語の研究	小林 由佳	大岡昇平論—戦争小説を中心に—	飯田 朋美
古代宴論	市川 晃志	樋口一葉作品に見る明治と女性	
わらべうたの研究	須見 ちあき	高村光太郎論	
太宰治と『人間失格』論	菅原 広樹	—戦争はいかに高村光太郎を襲ったか—	迫 大我
万葉集における天智系文学の研究	峯岸 多佳子	おもろ語と琉歌語	増田 翔子
		とはすがたりの副詞研究	梅木 英延

万葉女流歌の研究

『今昔物語集』の研究

虚構から見える現実―村上春樹作品論―

源氏物語論

光源氏の色好み

『平家物語』の研究

島崎藤村『破戒』に見る部落問題

日本人のコミュニケーション能力

源氏物語の神話性考察

平安女性文学の現実認識

出雲国風土記の研究

平家物語と浄土宗

俗信の表現的研究

『限りなく透明に近いブルー』における

村上龍論

古代の夢と文学

流行語が与える言葉の力

明治の精神と言語

那須与一の研究

義経の研究

おもしろさうしの聞得大君

平家物語について

万葉集女流歌人論

宮沢賢治の作品世界

清水 恵

郡司 佳代子

渡邊 健太

大澤 優

坪井 達也

大木 真梨子

加藤 兼太

添田 剛司

渡辺 規之

曲木 由希子

森澤 優一

小林 哲也

柿沼 彩友美

清水 裕介

寺田 恵利

佐藤 祐介

林 陽介

高津戸 恵

小久保 里美

永山 滋

幡野 玄徳

佐藤 翔子

高野 瑤子

後深草院二条の心的表現

とはすがたりの擬古文

沖縄文学から考察する「自然」観

文学科(日本語日本文学専攻コース)(夜間主コース)

紀貫之論

宮沢賢治研究

河野多恵子『幼児狩り』論―性と欲望―

菊池寛研究

沖縄ノート論

梶井基次郎論

日記文学に見る恋愛と結婚

中原中也研究

平安文学と御霊信仰

琉球における三輪山伝承

定西琉球物語論

今昔物語集の研究

琉球における為朝伝承

沖縄戦記文学論

『ひめゆりの塔をめぐる

人々の手記』の変遷

平安文学におけるみやびの研究

柿本人麻呂研究

大伴家持研究

柳沼 伸明

金井 紀子

近藤 龍馬

石原 茜

盛山 達也

喜来 桃子

大島 瑠璃子

近藤 智美

中野 由衣

瀧澤 幸

領家 弘人

堀米 美喜

坂上 桂子

上田 将之

原 美奈子

郡司 智之

坂本 雄哉

帆 莉智子

島谷 勇也

若林 初江

文学部卒業論文題目一覧

太宰治研究	袴田将吾	O・ヘンリー研究	熊倉大将
樋口一葉『十三夜』論	戸崎康仁	英語の歴史と	
落窪物語「いじめ」論	窪田淳	日本人の英語学習の関係について	中橋雅人
		日本スポーツと	
		イギリススポーツの比較文化	岩原正幸
		ウィリアム・シェイクスピア研究	矢島由多
		ルイス・キャロルの『アリス』研究	海老沼瑞樹
		シェイクスピア研究	吉澤宏幸
		20世紀におけるアメリカの歴史と服飾の変化	関康浩
		ワシントン・アーヴィング研究	後藤佳央里
		日本の英語教育	茂野真記子
		宗教と音楽の関係性について	家村拓輝
		英語教育の問題点と改善点	金田裕喜
		MLBの歴史と変遷	若林準也
		ゴスペルのルーツ、魅力、	
		現代(世俗)音楽との関わりについて	大田健
		アメリカにおける銃社会について	平塚沙織
		ルイス・キャロルの「アリス」について	松木敬紀
		<i>In Our Time</i> におけるNickについて	萩野智美
		アメリカの教育と日本の教育について	吉田紋子
		Ernest Miller Hemingway	五十嵐啓彰
		キング牧師について	荒井智博
		アーネスト・ヘミングウェイ研究	岡本卓
		オスカー・ワイルドの世界とその影響力	西園知宜
文学科(英語英米文学専攻コース)(昼間主コース)			
O・ヘンリー研究	塚下俊		
O・ヘンリー研究	伊藤聡美		
O・ヘンリー研究	青木晃一		
ガリヴァー旅行記について	大川彩乃		
O・ヘンリー研究	西村友洋		
アメリカ文化について	藤野尚子		
O・ヘンリーの研究	根本恵介		
イギリス女性偉人の生涯	小野寺純里		
アメリカの音楽の歴史	川口真沙子		
Edgar Allan Poe 研究	阿部佑介		
O. HENRY の文学作品の研究	島田啓佑		
O・ヘンリーの生涯と作品について	山越優香里		
不思議の国のアリス	立和田有希		
アメリカ音楽の発展と文化の発展	中山智樹		
『アリス』について	石澤沙紀		
O・ヘンリー研究	首藤佳奈子		
英国の幽霊文化	手塚清香		
日・米のいろいろな文化比較	譽田めぐみ		
O. Henry の研究	川久保絵理		

イギリス文化と日本文化の比較

—生活様式の違いについて

アメリカの東部と西部の比較研究

イギリスを舞台にしたアニメとその影響力

—ピーターパンを中心に

音韻論における原理の研究

エドガー・アラン・ポーと色の世界

英語教育研究

○・ヘンリー研究

チャールズ・ディケンズ研究

○・ヘンリー研究

ルイス・キャロル

「不思議の国のアリス」研究

ファッションにおける比較文化論について

エイミー・ベンダーの小説の中の少女について

イギリスと日本の比較文化論

—国民性・マナー・慣習について

現在の英語教育の問題点

カナダと日本の人間性の比較文化

日本と中国の英語教育の比較

瀧野 歩

渡邊 直茂

田中 理紗

三川 和典

根本 奈津美

宮澤 迅登

阿部 正幸

近藤 桂太

藤田 利幸

根本 沙希

大原 美希

池谷 なつ美

角田 翔

遠藤 喬子

中島 慶太

田口 貴啓

O. Henry 研究

英語教育の問題点と改善すべき点について

シェイクスピア研究

ポウについて

H・D・ソーロー研究

沖縄での生活から考える日米比較文化

○・ヘンリー研究

○・ヘンリー研究

アガサ・クリステイ研究

福田 恵

池上 浩樹

小林 梨絵

早川 健宏

多田 健鎮

知花 博樹

怒賀 浩徳

石原 卓人

篠原 雄太

文学 科 (英語英米文学専攻コース)(夜間主コース)

○・ヘンリー研究

○・ヘンリー研究

砥石 純矢

桑嶋 克幸